

2017 March

Vol.54

広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター

〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151(代) <http://www.hiro-nishi-nh.jp/>



タイトル:水鏡

撮影日:2017年3月

撮影者:感染管理認定看護師 吉松崇之

コメント:小さな枝も、切り取り方次第で、なかなか画になります。

CONTENTS

| | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ■ PDCA祭り(毎日がPDCAサイクルじゃけ~)を開催して…2 | ■ 第17回維新の里・萩城下町マラソンで医務室ボランティア…12 |
| ■ CPC100回を達成して ……4 | ■ ウィンタースノーキャンプに行きました…12 |
| ■ 地域のリーダー・アラカルト ……5 | ■ 成人式・成人お祝い会…13 |
| ■ 新しい「くすり」の開発のために私たちの出来ること…6 | ■ 栄養士のつばやき19…13 |
| ■ 循環器研修会に参加して ……7 | ■ 患者図書室から…14 |
| ■ 地域医療連携病医院のご紹介① 村井内科クリニック…8 | ■ 少し足をNova Savor…15 |
| ■ 地域医療連携病医院のご紹介② 村上クリニック耳鼻咽喉科…9 | ■ 地域医療連携室実績報告…15 |
| ■ 研修企画隊による「クレームの事例検証」研修…10 | ■ 編集後記…15 |
| ■ 第66回大竹駅伝競走大会 ……11 | ■ 外来診療担当医表…16 |
| ■ 医療機器の紹介…11 | |

病院理念「患者さんと共に」

■基本方針

1. 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
2. 地域に密着した良質で安全な医療の提供
3. 予防医療への貢献
4. 医療の質の向上のための研鑽
5. 経営基盤の確立

■「患者の権利」宣言

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 自分の受けている医療について知る権利
4. 自分の意見を表明し、自己決定する権利
5. 個人のプライバシーが守られる権利



公認キャラクター
「にっしーくん」

広島西医療センター「PDCA祭り(毎日がPDCAサイクルじゃけ〜)」を開催して

臨床研究部長 高 蓋 寿 朗



みなさん、PDCAサイクルってご存知でしょうか？

事業活動を効率的に発展させていくためのマネジメント手法として、トヨタ自動車など多くの企業で活用されていますので、耳にされた方もおられるかと思います。「Plan(計画)」「Do(実行)」「Check(評価)」「Act(改善)」の4つのプロセスを順番に実施し、Aまでいったら再度Pに戻って、サイクルの様に回して、継続的な改善を図ろうという考え方です。

当院はこれまでも医療の質の向上と経営管理に関連した「取り組み」を行ってきていましたが、さらにPDCAサイクルを応用することで、このシステムへの理解を深め、「取り組み」の質も向上できると考えました。

「毎日がPDCAサイクルじゃけ〜」との院長のかけ声のもと、昨年7月に取り組みを開始することになり、さらにモチベーションを高めるために、今年1月に「PDCA祭り」と称して報告会+表彰式を開催することとしました。各部署からの提案を募ったところ、なんと26件もの提案がありました。なんともほほえましいテーマから、病院運営の基盤にかかわる問題に大上段から斬りかかるテーマまで様々でしたが、あえて各部署の意向そのままに組みんでいただきました。

PDCAを用いた取り組みは初めての部署も多く、困惑の声も聞こえましたが、それぞれが成果を出して下さり、1月12日の「PDCA祭り」は下記の様に開催されました。

1. ポスター発表 (12:00 - 15:00)

26のテーマすべての発表、職場長等の投票で上位5チームを決定。

2. 口演でのプレゼンテーション (18:00 - 19:00)

上位5チームによるプレゼンテーション、聴講した職員(約120名)の投票で最終順位を決定。

3. 表彰式&新年会

院長自ら趣向を凝らした順位発表で会場を沸かした後、ケータリングによる新年会(アルコールはなしですが)が開催され、和やかな雰囲気の中お祭りは無事終了しました。

26題すべての発表が各部署の苦労と熱意にあふれており、順位の決定は難しいものでしたが、1位は療育指導室が中心となった「にっしーくん知名度UP大作戦!」が獲得しました。ご存知、当院公認ゆるキャラの知名度アップの活動で、「ゆるキャラグランプリ」での順位大幅アップが成果として評価されました。なごやかな雰囲気を生み出してくれることで、「にっしーくん」は間接的に診療の質の向上に貢献していることを再認識させてくれました。

今後もこの経験を活かして、病院全体でPDCAサイクルを応用した改善の取り組みを進めていきたいと考えております。



サンシャイン奥谷院長による結果発表



取り組みポスター(全26演題)



取り組みポスター

■PDCA祭りエントリー全26タイトル

- 「無菌室患者への心理士介入率向上の試み」
- 「糖尿病透析予防指導管理料システム」
- 「コスト漏れ防止の取り組み」
- 「転倒予防（環境調整）」
- 「退院前訪問の件数増加」
- 「CDとの仁義なき戦い〜」「腰痛予防に取り組み元気で働こう」
- 「T字カミソリから電動髭剃りへの移行」
- 「豪雨による冠水時対策」「教育環境作り・深夜業務の見直し」
- 「検査,処置の技術向上」
- 「生化学採血の取り直しに関連した外来中央処置室での取り組み」
- 「“小さな事からコツコツと節約するぞ” 作戦」
- 「経腸栄養に関する安全管理と経費削減」
- 「ディスプレイタブレット使用部署の拡大」
- 「時間外勤務の縮減を目指しての取り組み」
- 「退院時指導件数の増加」「プレアポイド報告件数の増加」
- 「TV室放射線検査における放射線診療従事者の放射線被ばくを低減させる」
- 「リハビリテーション総合実施計画書の誤配送を無くす」
- 「ディフシルGO!」
- 「神経筋難病病棟ご飯が美味いでみんな元気!!
- 調理師全員の考案お魚メニューで満足度アップ!!」
- 「“にっしーくん” 知名度UP大作戦!」「ベッドサイドの環境整備」
- 「消耗品の経費削減」
- 「患者駐車場満車の改善」

- 血液内科&心理療法室
- 糖尿病チーム（糖尿病認定Ns・Dr・技師）
- 外科病棟
- 血液内科病棟
- 内科混合病棟
- 神経・筋・難病病棟
- 成育心身障がい病棟
- 外来（看護部）
- OP（看護部）
- 医療安全
- ICN
- 副師長
- 薬剤部
- 放射線科
- リハビリ科
- 検査科
- 栄養管理室
- 療育
- 企画課
- 管理課



第1位「にっしーくん知名度UP大作戦」



PDCA発表後の新年会

広島西医療センター

PDCA祭り

日時 平成29年1月12日(木)

場所 大講堂

スケジュール

| | |
|--------|-------------------------|
| 午前中 | ポスター展示 |
| 12~15時 | 職場長による 順位投票・選出 |
| 18時~ | 上位5チームの発表、 職員による一般投票 |
| 19時~ | 新年会・表彰式 |

CPC100回を達成して

診療部長（臨床検査科・病理診断科）立山 義朗



平成29年1月16日に開催されたCPC（Clinico-Pathological-Conference, 臨床病理検討会）をもって、私が平成17年4月に当院に赴任して以来、11年10ヶ月でCPC100回を達成することができました。これまで私が担当した症例はすべてCPCという会で皆さんの前で検討することができました。そして何事も100という数字は、100%、100人力、テスト100点満点、1世紀（100年）、センテナリアン（100歳長寿）などのことばがありますように完璧とか、一区切りをつけるというような大きな意味を持っており、CPCも100回を数えることができたいへんうれしく思っているところです。

このたび、奥谷院長が音頭を取ってくださり、CPC100回記念特別講演会を開催することができました。そして、感染対策用の新しい解剖台も平成29年3月1日に設置が完了し、その両方のお祝いという意味で、平成29年3月2日に私が尊敬する友人（人生の先輩）の一人、細川洋平先生（近江八幡市立総合医療センター副院長、病理医、S55年京都府立医大卒）をお迎えして講演していただきました。講演は「病理と私～地域医療における役割と貢献～」と題して、病理業務を柱にこれまで院内や地域において、企画し、実践してこられた、たくさんの教育や啓発活動などについて紹介していただきました。CPCも研修医を呼び込む病院活性化の方策の一つであると細川先生もお話しされました。ちなみに、当院の研修医は平成20年までゼロであったところが、H21年から初めて3人入職し、H29年現在は9人（1年目と2年目を含む）まで増えていることに、多少なりともCPCが好影響を及ぼしていると思いたいところです（それはないかな!?)。



特別講演前のレクチャー



近江八幡市立総合医療センター 副院長 細川洋平先生

さて、CPC100回を達成し、われながらよくやったと思う反面、毎回1時間程度（まれに白熱して1時間過ぎることもあります）、めったにありません）の、臨床と病理を合わせた短い発表で、とにかくやればいいという会で終わっていることも否定できません。これを簡略CPCという人もいます。忙しい臨床の先生方の時間の制限、私自身の学術的能力の限界がどうしてもあるからです。しかし、このままではマンネリ化し、おもしろくないのでCPCはもうやめようや！ということにもなりかねませんので（実際は研修修了にCPCレポートが1つ必修なのでなくなることはないと思いますが）、今後は少しずつでも変えていきたいと考えています。

昨年、神ってる！と言われ、カーブ優勝に大いに貢献した鈴木誠也選手が、今年は600打席600安打の10割という高い目標を掲げてがんばりたいと言っていたように、CPC症例は全例何らかの形で学会発表、論文発表にするという目標で私もがんばりたいと思います。どの症例も私が論文にするというつもり（つもりだけ？）でやろうとは思いますが、CPCにかかわった誰かが論文発表などしていただいて全く構いません。簡略型CPCは時間と能力（私自身の）の関係で今後もそうならざるを得ないところはありますが、年に1度くらいは日医生涯教育講座の1つのオープンレクチャーとして、これまで開催したCPCの中から教育的症例を選択し、本格的CPCが開催できたらいいなと思っているところです。

しかし、すべての診療科の先生方全員が意気込んで、全例剖検するぞ！となった場合、私の処理能力を超えることも容易に想像できますので、各診療科の先生方には、ほどほどのご協力とご指導、ご鞭撻を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

地域のリーダー・アラカルト (第十話) 『アウトドアへの誘い』

広島県立広島西特別支援学校
校長 米原 正人



もう30年以上も前になるでしょうが、「仕事のない休みの日ぐらい、自然に包まれていたい。」ふと、そう思ったのです。

スタートはキャンプでした。はじめのうちはシンプルなものでしたが、だんだん用具に凝っていくのは世の習いです。タープやランタン、チェアなどに凝りだすと、自然の中で何も考えないで時を過ごすことに喜びを見出すようになりました。春や秋のちょっと肌寒い季節の夜、見上げる星空は最高です。こんな時、「あえて何もしない」ことの幸せに気付くのです。

キャンプを続けていくうちに、子どもも大きくなってきました。次のステップは、キャンプ場周辺のトレッキング、そして登山へと目的は広がっていきました。春は新緑の林の中、秋は色づいた木々の中を歩くことは、体だけでなく「心の運動」がプラスされます。この瞬間は仕事とのメリハリの上で、大切な瞬間となっていました。



妻と剣山山頂にて

冬の季節はスキーです。もともと目的が自然と親しむことですから、スキーに過度のスピードは求めません。長い距離を自然に包まれてゆったりと降りていくことが、私たち家族にとっての醍醐味でした。やがては県内で飽き足らなくなり、信州方面まで車で遠征、時には北海道へと向かうのは必然です。中でも私が好きだったのは長野県北部の野沢温泉スキー場。スキーと温泉が同時に楽しめる、リフレッシュには最高の場所でした。

お気づきのこととは思いますが、「自然」と言いながら、ここまで海が出てきていません。実は私は、泳ぎにまつわることは大嫌いでした。息継ぎが無茶苦茶で、25m泳ぐのが精一杯です。だいたい人間の体が水に浮

くということ自体、信じられない位でした。しかしある日家族から、「沖縄に行って、体験ダイビングをしてみたい!」との恐怖の提案があったのです。家庭内では、いつも1対3の絶対少数者、「1回だけなら」という条件で渋々行くこととなりました。海も私もブルー…

ところがダイビングに、はまってしまいました。

「息継ぎ?」レギュレータを咥えており、水面でバタバタ呼吸する必要がありません。「水に浮かない?」ダイビングは、潜るものです。だから、見事にはまりました。ダイビングの資格を手に入れ、毎年のように沖縄本島、宮古島、石垣島へ遠征したものです。沖縄本島のサンゴは、かなりダメになっていますが、八重山の海のサンゴは健在です。10メートルも潜れば、そこはカラフルな魚の天国、「浮世を忘れる」瞬間でした。また5~6メートルもあるマンタという大型のエイが頭上を飛翔(本当に!)していく姿は、感動的でした。

年月を重ね、あと数年で仕事もリタイアします。体力の低下は否めませんが、自然とはずっとつながっていたいものです。リタイア後は身の程を考えて、キャンピングカーを利用しての熟年キャンパーを目指そうと考えています。「トレッキングと温泉(露天風呂)」程度のアウトドア、今から夢が膨らみます。皆さんも、心と体の健康のため、自然と付き合ってみることをお勧めします。

最後に、私たちの学校を紹介させてください。

広島県立広島西特別支援学校は、広島県唯一の「病弱児のための」特別支援学校です。広島西医療センターに入院している子ども等に対し、必要な教育的配慮を行いながら学習できる機会を作っています。病気の関係で地域の方と触れ合う機会が少ない子どもが多いのですが、テレビ電話や分身ロボットなどのICT機器を活用して、地域の皆さんとつながっていこうと考えています。

小さな学校ですが、どうか遠慮なく本校をお訪ねください。子どもたちと教員が、笑顔で皆さんをお迎えします。



広島県立広島西特別支援学校

新しい「くすり」の開発のために私たちの出来ること

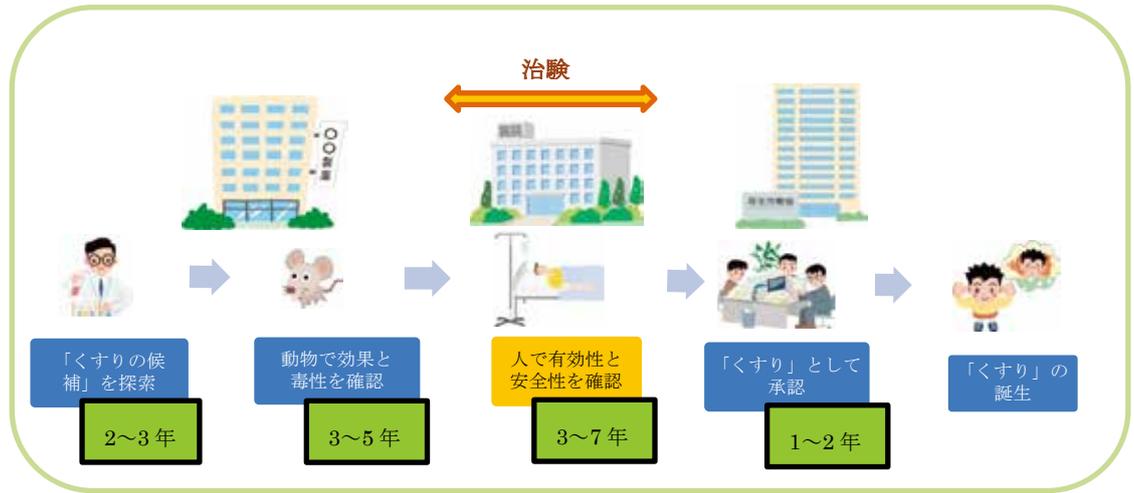
薬剤部／治験管理室 治験主任 増 本 文



「治験（ちけん）」とは？

みなさん、「治験」という言葉を聞いたことがありますか。

新しい「くすり」が世の中で使われるようになるためには、「くすりの候補」について、動物で効果や毒性を調べるだけでなく、人での効果や副作用を確認する必要があります。人での有効性や安全性を調べる試験のことを「臨床試験」といい、その中でも国（厚生労働省）から「くすり」として承認を受けるために行う試験を「治験」といいます。



現在、私たちが病気の治療などに使っている「くすり」は、多くの患者さんのボランティアによる「治験」を経て誕生したものです。未だに治療法がない病気を克服するためには新しい「くすり」の開発が必要であり、「治験」に参加していただける患者さんのご理解とご協力が不可欠です。

治験の規則とは？

治験に参加される方の人権及び安全が最大限守られ、科学的な方法でデータが得られるように、国は厳格な規則（医薬品の臨床試験の実施の基準：GCP）を定めています。治験は、この規則に従って行われます。

治験を行う医師や医療スタッフは、患者さんや必要に応じてご家族の方に治験について十分ご説明し、その内容を理解された上でご本人の意思により参加することに同意していただきます。同意されない場合や、治験参加中にご本人の意思で取りやめられることがあっても、治療上の不利益を受けることは一切ありません。

CRC（臨床試験コーディネータ）とは？

CRC（臨床試験コーディネータ）とは、治験が適正かつ円滑に実施できるように医療チームの調整や医師のサポートを主に行う職種ですが、もう1つの重要な役割は、患者さんが安心して治験に参加いただけるようにサポートすることです。当院では、看護師4名と薬剤師1名のCRCが患者さんの不安や心的負担を少しでも軽減できるよう努めています。

治験に参加いただける方を募集しています

| 対象の疾患 | 診療科(担当医) |
|--------------|-------------------|
| アルツハイマー型認知症 | 神経内科(渡邊、牧野、檜垣、元田) |
| レビー小体型認知症 | 神経内科(渡邊、牧野、檜垣、元田) |
| パーキンソン病 | 神経内科(牧野、渡邊、檜垣、元田) |
| 小児注意欠如・多動性障害 | 専門小児科(湊崎) |
| 去勢抵抗性前立腺がん | 泌尿器科(奥谷、浅野、赤坂、福島) |

治験にはそれぞれ参加基準があるため、基準に合わない場合や、患者さんの安全を考え参加が困難と判断される場合には、参加いただけないことがありますのでご了承ください。



※詳細については、担当医または治験管理室までお気軽にお問い合わせください。

循環器研修会に参加して

東2病棟看護師長 中尾美幸



平成29年2月18日に第11回西せと循環器研修会に当病棟の玉住看護師が心不全看護について発表しました。この研修会参加にあたり、藤原診療部長には、今回の事例を通しご指導を頂きながら発表を迎えることができました。とても感謝しています。

第11回西せと循環器研修会は、廿日市市・大竹市・岩国市近隣の病院から多くの医師が参加され、その中で玉住看護師は看護の中でチーム医療を掲げていました。日々受け持ち看護師が変わる中でチームとしての関わり、看護師が患者さんから話を聞くことで、知り得

た情報をもとに医師と情報交換をおこない、在宅へ帰れることを目標に支援しました。その発表は堂々とし、医師からの質問にも答え、とても頼もしかったです。

研修会の後に心不全の治療について講演がありました。講演の中で印象に残ったのは、チーム医療であり、看護師・他職種との関わりがとても大きいと言われました。講演中も玉住看護師の発表の内容にふれられ病棟看護師長としては、とてもうれしかったです。看護師ができることがたくさんあると思いました。当病院に入院される患者さんに安心して治療看護ができるようこれからも日々がんばっていきたいと思います。



藤原診療部長（循環器科）



玉住看護師



◀玉住看護師による心不全看護についての発表資料▶

こんなところで働いています！カテ室です。ちなみに私は病棟ナースです。

カテーテル治療 (PCI)



ペースメーカーの植え込み



地域医療連携病院医院のご紹介① 村井内科クリニック

【診療科目】 内科・胃腸科・糖尿病内分泌科

【医師名】 村井 斎子、村井 一樹

【住所】 〒739-0602 大竹市南栄1-6-15

【電話番号】 0827-52-8138

【診療表】

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 9:00～12:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14:00～18:00 | ○ | ○ | / | ○ | ○ | / |

※水曜日、土曜日午後休診、日曜日、祝日は休診。

【診療内容の特徴など】

●開業の時期●

昭和55年開業しました。

築地がんセンター（現 国立がん研究中央病院）にて研修を受け、主に胃腸科の山田部長にご指導をいただき胃腸科専門で行っていましたが、建物の老朽化にて昨年建て替えを行い移転しました。

●医院の特徴●

去年からは2人態勢で診療しています。

今は胃腸科に加え、糖尿・内分泌も専門で主に診ています。

往診も行っています。小瀬の方まで行ったりしています。

予約なしでも受診できますが、お待ちいただくことがあるかもしれません。

●特に取り組んでいることや今後について●

西医療センターには紹介のありなしにかかわらず、大変お世話になっておりなくてはならない存在です。

特に総合診療科が出来てとてもありがたいです。

救急の対応になると、廿日市の方をお願いすることもあります。

大竹市民の健康を目標にして診てきました。患者の話をよく聞くことを心がけています。

当院にかかられている患者さんがご高齢になられても、患者さんが望むのであれば最後まで一緒に寄り添っていきたくと考えています。

今後も引き続き市民の方の健康維持と自分たちが出来る医療を目指しています。

"出来るだけ患者さんに迷惑をかけないということを中心に努力をしております。"

患者さんの負担が少しでもなくなるようにしていきたいです。"

●先生の趣味●

読書が好きです。

一樹先生は家庭菜園や昆虫が好きでカブトムシなど幼虫から育てています。



地域医療連携病院のご紹介②

村上クリニック耳鼻咽喉科

【診療科目】耳鼻咽喉科

【医師名】村上 博（日本耳鼻咽喉科学会 専門医）

【住所】〒739-0615 大竹市元町1-11-2 大竹小学校すぐ横

【電話番号】0827-52-1133

【診療表】

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 9:00～12:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 15:00～18:00 | ○ | ○ | / | ○ | ○ | ○ |

※木曜日…午後休診。土曜日…午後14:30～16:00。日曜日、祝日は休診。

【診療内容の特徴など】

●開業の時期●

当院は、平成5年に開院した耳鼻咽喉科診療所です。

●医院の特徴●

耳・鼻・のど（口腔、咽頭、喉頭から食道入口分まで）の病気を主体にして中耳炎や副鼻腔炎・扁桃炎などの感染症鼻炎・花粉症などのアレルギー、めまい・耳鳴り・難聴・嗅覚障害などの感覚器疾患、咽頭癌などの頭頸部腫瘍（早期発見）に対する一般診察を行っています。

●特に取り組んでいることや今後について●

開院以来、次の3つのことを診療に対するモットーとしております。

1. 患者さんの話をよく聞くこと。
2. できるだけ分かり易く説明して、患者さんに病気について理解してもらうこと。
3. 患者さんにとって今後何が必要で大切なことかを患者さんと一緒に考えること。

なかなか全てに理想通りとはいきませんが、絶えず変化する医療の波に対応して、広島西医療センターを初めとした病院と連携しながら、患者さんにとってのより良い医療が提供できるように、又それにより患者さんの生活の質の向上に役立てるよう努力しております。

●先生の趣味●

最近では愛犬（ゴールデンレトリバー・2才）とのジョギングに汗を流しています。





研修企画隊による「問題事例検証」研修

セーフティマネージメント部会 医療安全管理室

1月18日にセーフティマネージメント部会主催による「問題事例検証」研修を開催し、医師、看護以外にも多数の参加があり充実した研修会となりました。今回は、外部講師を招き、実際にあった問題事例について検証していきました。あらかじめ事例が3つ用意されており、どの事例も普通に起こりえる内容であるだけに参加者は色々な意見や対策などについて話し合いができました。その中の1事例を紹介します。



研修会の様子

訴えた患者A：入院、リハビリを行っている

- ①午前9時、理学療法士のBが担当患者のAさんの病室へリハビリ変更時間のお願いに訪れた。
- ②理学療法士のB：「Aさん、今日のリハビリは11時15分からなんです、15時に変更していただけますか？」
- ③訴えた患者A：「その時間はダメ」
- ④理学療法士のB：「じゃあ何時になるか、わかりませんよ。できないかもしれません」と、捨て台詞のように言ってカーテンをピシャッと閉め、部屋をでていった。



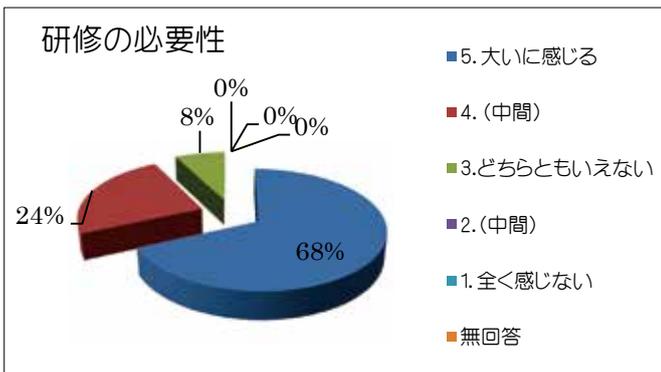
GWの成果を発表

その後、患者Aさんは、リハビリ室に行き、理学療法士長に事の次第を話し、担当を代えてくれと訴えた。

自分が患者・理学療法士の立場ならどんな気持ちなるかを出し合った後に、自分が患者さんの訴えを聞いたとしたらどのような対応をするか再度グループで話し合いをしました。このような事例を取り上げ話し合うことで、患者さんから問題事例を受けた際の適切な対処法について学ぶことが出来ました。

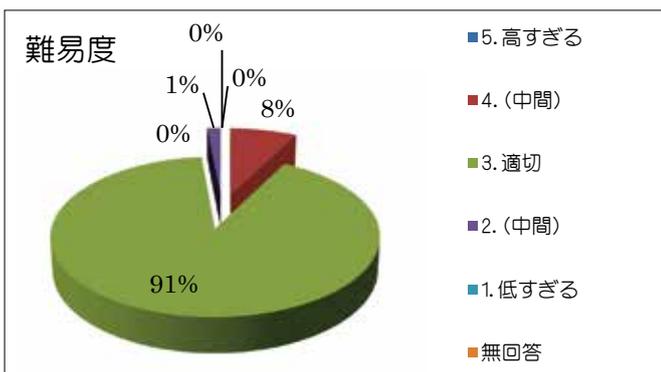
医療安全グループとして、来年度も更に充実した研修を取り入れていきたいと思ひます。

1. 研修の内容は、必要性を感じるものでしたか？

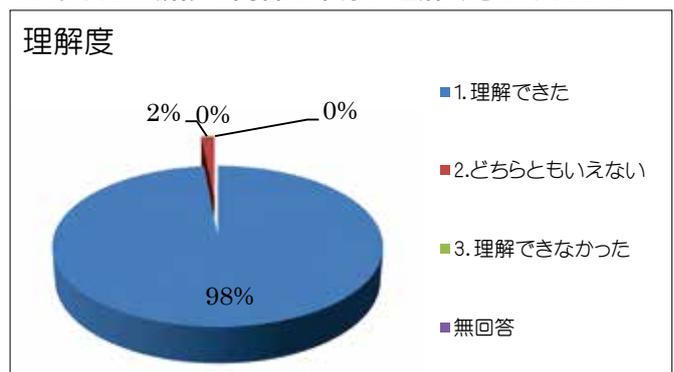


セーフティ委員

2. 研修の難易度はいかがでしたか？



3. あなたは研修の内容を十分に理解できましたか？



第66回大竹駅伝競走大会
 ~その1秒を削り出せ!!~
 肝臓内科 福原 崇之



今年も大竹駅伝競走大会に参加してきました。大竹駅伝は昭和27年より始まった伝統ある大会で、当時の出発地点はなんと広島駅だったそうです。時代とともに区間も変更され、平成16年から現在のコース(5区間、23.6km)となりました。広島西医療センターからは今年で15年連続の出場です。今年のメンバーは1区：中村(総合診療科)、2区：安部(放射線科)、3区：有江(元当院放射線科、現呉医療センター)、4区：森兼(リハビリテーション科)、5区：福原(肝臓内科)。



栄光のゴールテープに向かって!

1区：中村 月間走行距離350km(変態…笑)を確保し気合い十分!アップダウンの激しい区間を鬼気迫る走りです。2区：安部 今年減量失敗?(飲み過ぎ?)ながら、高い身体能力で3人を抜き去り3区へ。3区：有江 強力助っ人、例年通りの快走で4区へ。4区：森兼 3年連続の4区マスター。応援の少ない区間を強い精神力で5区へ。5区：福原 今年初参戦、不惑の男子!3人を抜き去りゴールへ。記録は1時間31分34秒で、一般男子39チーム中32位という結果でした。この悔しさをバネに、来年に向けてのスローガンは、「その1秒を削りだせ!」では全然足りないので「その1分を削りだせ!」でいきたいと思ひます。

雨の中、沿道で応援して下さい下さった皆様方、本当にありがとうございました。また、この駅伝には選手だけでなく毎年救護班としてボランティアで参加している当院看護師さんもいらっしゃいます。本当にお疲れさまでした。多くの方々がこの駅伝を支えて下さっていることに感謝し、来年はもっと上を目指して精一杯走りたいたと思ひます。

来年こそはランナーとして参加してみたいという人(→男子2チーム+女子チームもできるといいなあ)、マネージャーとして参加したい人、大歓迎です。是非声をかけて下さい。

来年こそはランナーとして参加してみたいという人(→男子2チーム+女子チームもできるといいなあ)、マネージャーとして参加したい人、大歓迎です。是非声をかけて下さい。



メンバー一同「応援ありがとうございました!」

| | 第1区 | 第2区 | 第3区 | 第4区 | 第5区 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 距離 | 5.9km | 2.8km | 5.9km | 5.5km | 3.5km |
| 走者 | 中村 浩士 | 安部 健治 | 有江 隆一 | 森兼 竜二 | 福原 崇之 |
| タイム | 23:16 | 10:28 | 22:27 | 22:33 | 12:50 |

医療機器の紹介 多目的デジタルX線TVシステム
 「ultimax-i」を導入して
 放射線科

CアームTV装置の更新により東芝メディカルシステムズ社の「ultimax-i」を導入しました。この装置の特徴はCアーム搭載で、観察したい部位に対し様々な角度をつけることができ、診断に必要な情報が容易に得られ、平面検出器は17インチの大視野を確保しているので多様な検査に対応しています。また画像処理機能も進化し、透視画像の視認性も大幅に向上して「多方向・大視野・高画質」を実現し、使いやすい装置となっています。さらに寝台の高さが以前より低い所まで下降し、寝台の幅が広くなり患者の転倒のリスクが減り医療安全の観点からも優れています。被ばくに関しては画質を保ちながら更なる被ばくの低減が行えるなど患者にやさしい機能を持ち合わせた高機能の装置です。

この装置はDSA(血管撮影機能)を有しているため、肝臓内科が肝臓がんに対してカテーテルを挿入し、肝臓内の腫瘍を栄養する細い動脈に抗がん剤などを入れ、動脈の血流を遮断し、腫瘍細胞を壊死させる治療「TACE(肝動脈化学塞栓術)」を施行しています。さらに整形外科による整復手技や、内科によるIVH挿入手技など幅広く利用して頂き、医師からは以前より手技がしやすくなったと評価をもらい、操作を行う技師からも以前の装置より使いやすいとの声が上がっています。この装置の導入によってより早く、より確実に安全な医療の提供を行っていきたくと考えています。



CアームTV装置 東芝メディカルシステムズ社「ultimax-i」

17回維新の里・萩城下町マラソンで医務室ボランティア ドクターランナーとナースランも参加

総合診療科（兼）健診センター 中村浩士



去る12月11日(日)に山口県萩市において第17回維新の里・萩城下町マラソン（総参加者数4,224名）が開催されました。総合診療科では萩市医師会や山口大学の看護師や学生と共に、ランナーの健康チェックとコース上の救護を目的とした医務室ボランティアを昨年から実施しています。今回はさらにドクターランナーとナースランも追加し、走りながらの救護活動も行うことが出来ました。当日は天候もよく、安全無事に大会を終えることが出来ました。



会場入口の一番目立つところに医務室を作って頂きました



筆者もハーフマラソン(21キロ)を走りました
“大竹の登坂に比べたら楽でした”



競技も無事に終了してゴール地点での記念撮影です



走行前に選手(希望者)の健康チェックを行いました

ウインタースノーキャンプに行きました

泌尿器科 福島 貴 郁



寒さの中にも早春の息吹が感じられるようになりました。

今回は1月28・29日に楽しんだキャンプを紹介させていただきます。

例年、夏と冬に企画しておりますキャンプですが、夏は周防大島でのバーベキューキャンプ、冬は雪山でのウインタースポーツキャンプを1泊2日の日程で行っております。



みずほハイランドにて

冬のキャンプは今年で4回目となりましたが、縁あって私は毎年参加させていただいております。参加者は、医師（研修医含む）、看護師、薬剤師、放射線技師、理学療法士、検査技師、管理栄養士etcと多職種に渡り、普段ともに働くスタッフが約20人集まり、親睦を深めております。

今回は冬のキャンプとして、島根県にある瑞穂ハイランドで2日間のウインタースポーツキャンプを行ってきました。昼間はスキーやスノーボードを楽しみ、夜は貸切のコテージで「循環器科藤原先生」お手製のミルフィーユ鍋をつついたり、酒を飲み交わしたりという会となりました。



夜の交流会

他愛もない話もしますが、普段同じ職場で働くだけではわからないお互いのことを話し合ったり、時には議論をしたりとチーム医療を行う上で欠かせない、多職種間でのコミュニケーションをとることができる場となっております。

初心者でも初参加の人でもみんなが楽しめる会を目指して、今後も催したいと思っております。次回は夏に周防大島でテントを張ってのバーベキューキャンプを企画しようと思っております。興味のある人は是非ご連絡ください。



祝 成人式・成人お祝い会



保育士 飯橋 敦



平成29年1月18日(水)に、慢性病棟に入院されている成人者2名の方の「成人式・成人お祝い会」が開催されました。「成人式」は病院行事として、厳粛かつ和やかにとり行われました。来賓として、大竹市長、大竹市社会福祉協議会会長、広島西特別支援学校校長、あゆみ病棟自治会会長、若葉病棟保護者会会長代理の方々をお迎えしました。当日は成人者2名ともスーツに身を包まれ、少し緊張した面持ちで、成人を迎えたということを改めて感じておられる様子が伺えました。

成人お祝い会では「みんなからのおめでとう」をテーマに、たくさんの方から2名へおめでとうを伝える会にしました。まずは成人者2名の主治医の伊藤先生、2名のご家族からお祝いの言葉をいただき、会場はあたたかい雰囲気になりました。次に、お祝いビデオレターとして、2名の小さな頃を一緒に過ごした職員、学

校の先生からお祝いのメッセージのビデオレターをいただき、上映しました。最後は療育指導室から成人者2名へ、2つの「おめでとうBOX」を用意しました。2つのBOXには2名のそれぞれの名前を使ったお祝いのメッセージでした。最後のBOX(くす玉)は、2名で一緒に引っ張って開けました。中には療育指導室職員1人1人から2名へたくさんのおめでとうのメッセージが入っていました。成人者2名へ、たくさんの方から「おめでとう」が伝わるあたたかい会になったように思います。

来賓の皆様、ご家族、慢性病棟の利用者の皆様、病院職員と共に、成人者2名の方の大きな節目の会を一緒にお祝いできたことをうれしく思います。



副院長からお祝いの言葉



全員で記念写真



お祝い会の一場面



みんなにくす玉割り



栄養士のつぶやき¹⁹



花粉症にヨーグルトって、効果があるの?

今年もつらい花粉症の季節がやって来ました。

花粉症対策には、薬、マスク、目薬、メガネなど、様々な花粉症対策グッズがありますが、今話題になっている『フェカリス菌』について、今日はつぶやいてみます。

正式名称は、エンテロコッカスフェカリスと言います。フェカリス菌は乳酸菌の一種ですが、乳酸菌は200種類以上存在すると言われています。ピフィズス菌などの棒状の形をした乳酸菌と比べると、フェカリス菌は球体で、一度にたくさん摂れ、狭いところまで行き届き、直接、腸管免疫系に働きかけ、善玉菌だけを増やし、腸内環境が改善され、アレルギーの花粉症も緩和されると言われています。

ヨーグルトを食べて、即効果を期待されている方も多いと思いますが、1日2日食べたからと言って、すぐに腸内環境は改善しませんので、効果を期待している方は、花粉症状が出る2~4週間前から食べ始め、長期に継続することがポイントとなります。

残念ながら、すぐには効果を期待できませんが、腸内環境を改善し、免疫を高めることで、感染防御作用(風邪を引きにくくする効果)や、整腸作用(便秘改善)も期待できますので、日々の食事にヨーグルトを取り入れてみてはいかがでしょうか。





患者図書室から



3月3日は
ひなまつり



女性に読んでほしい本 大特集!!

| | | |
|--|---|--|
| <p>働く女性のための がん 入院・治療生活便利帳 40代、働き盛りでがんになった 私が言えること</p> <p>(岩井 ますみ/講談社)</p>  | <p>噂の女医がこっそり教える 女の不調が消える本</p> <p>(吉木 伸子/主婦の友社)</p>  | <p>オトナ女子のための 食べ方図鑑</p> <p>(森 拓郎/ワニブックス)</p>  |
| <p>イラスト版 女性のための禁煙セラ ピー</p> <p>(アレン・カー/KKロングセラーズ)</p> | <p>最新版 だって更年期なんだ も〜ん</p> <p>(善方 裕美/主婦の友社)</p> | <p>オトナ女子の不調をなくす カラダにいいこと大全 その不調、このまま放っておいて 大丈夫?</p> <p>(小池 弘人/サンクチュアリ出版)</p> |
| <p>閉経後</p> <p>(宮崎 亮一郎/日本医学館)</p>  | <p>わたしのカラダは、私が守る 女性ホルモンの教科書</p> <p>(黒住 沙織・佐田 節子/日経BPマーケティング)</p>  | <p>頭痛女子バイブル 痛くなるワケから、治し方まで まるごと頭痛のこと。</p> <p>(五十嵐 久佳/世界文化社)</p>  |
| <p>女性のがん心のケア 乳がん・子宮がん・卵巣がん・ 大腸がん</p> <p>(大西 英樹/土屋書店)</p> | <p>乳がん・子宮がん・卵巣がん 術後の リンパ浮腫を自分でケア する</p> <p>(廣田 彰男 佐藤 佳代子/主婦の友社)</p> | <p>乳がんでも なんとかなるさ 〜独女マンガ家闘病記〜</p> <p>(佐々木 彩乃/ぶんか社)</p> |
| <p>妊娠・授乳期の食事</p> <p>(医歯薬出版株式会社)</p>  | <p>元気になる!きれいになる! からだの本 だから女は冷えちゃダメ。</p> <p>(オレンジページ)</p>  | <p>別冊 NHKきょうの健康 女性の尿トラブル 気になる症状を改善する</p> <p>(加藤 久美子/NHK出版)</p>  |
| <p>みんなの女性外来 イライラ・落ち込みが 激しいときの本</p> <p>(対馬 礼子/小学館)</p> | <p>みんなの女性外来 人に言えないからだの 悩みを解決する本</p> <p>(対馬 礼子/小学館)</p> | <p>みんなの女性外来 生理(月経)トラブルが つらいときの本</p> <p>(対馬 礼子/小学館)</p> |

開館時間:月~金 10時~15時(土日祝日をのぞく) 場所:正面玄関から入って直進 70m先

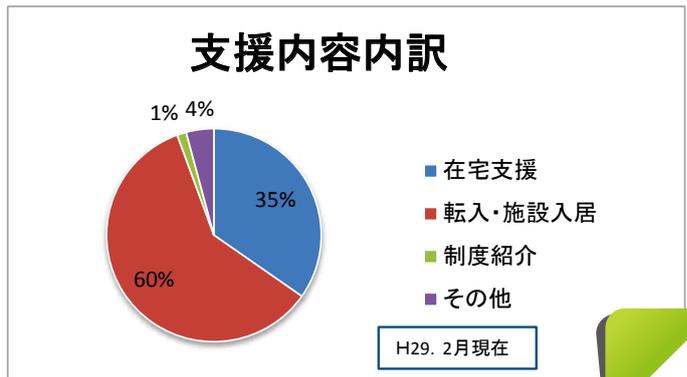
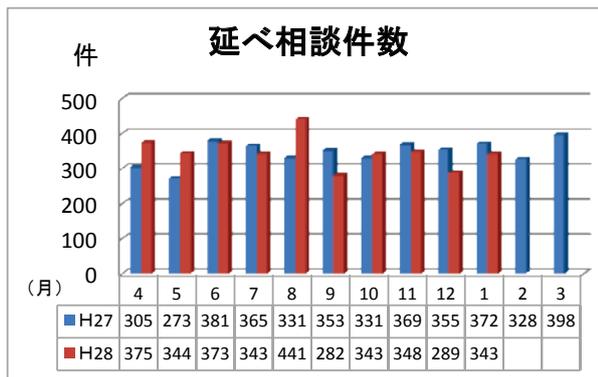
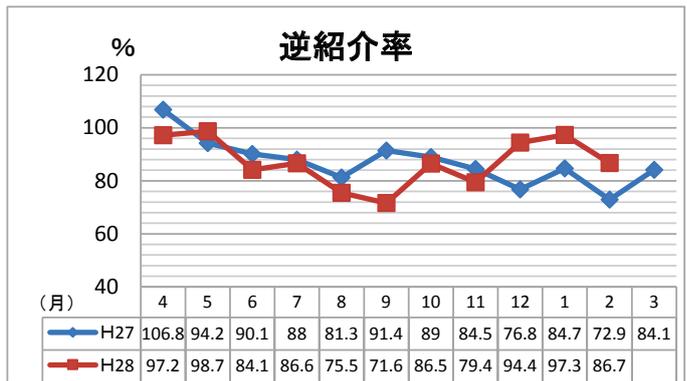
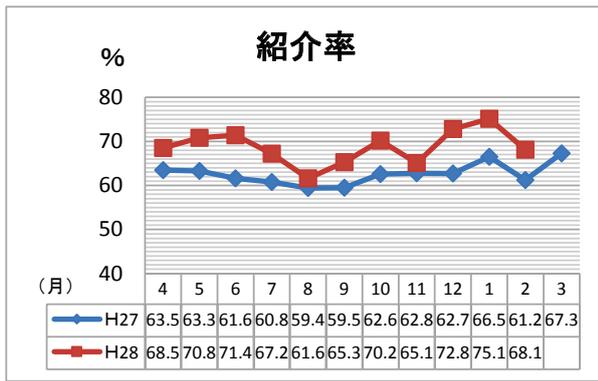
※平成29年2月より開館時間が1時間早くになりました。

少し足をNova Savor ～菰巻きと雪よけ菰～

菰巻きは、マツカレハなどの害虫駆除を目的に古くから行ってきた手法です。実際はほとんど効果が無いそうなのですが、「日本の風物詩」として昔と変わらず行われているようです。この『素敵な無駄』こそ、日本人のみならず海外の方に“Beautiful Japan!”と言わしめるもののひとつであることに違いはないと思います。(T.Y)



地域医療連携室実績報告



■編集後記

「春の訪れ」

今年、山陰地域では数年ぶりの豪雪となり春の訪れがまちどうしいところです。

また、3月、4月といえば、卒業、新入学・新入社や引っ越しで住所が変わる方にとって期待と不安が交差し、ワクワク、ドキドキの時期と思います。

話は変わりますが、今年の広島県の桜の開花予想日は3月30日頃とされ、満開は4月8日頃とのことです。新年度スタートして緊張と不安が安らぐ頃に桜の名所でも出かけられリフレッシュされては如何でしょうか。

広島西医療センター Newsでは、そのようなホットできる記事も掲載したいと考えておりますので引き続きよろしくお願い致します。

外来診療担当医表

広島西医療センター

広島西医療センターホームページでも紹介しています。ご利用ください。
<http://www.hiro-nishi-nh.jp/>

※受付時間 午前8時30分から午前11時まで

平成29年3月1日現在

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 備考 | |
|------------|------------------|------------------|-------------------|----------------|----------------|----------------|--------------|-------------|
| 総合 | 1 診 | 中村 浩士 | 小池 隆夫 | 長澤 佳郎 | 生田 卓也 | 角野 萌/中村浩士 | 下記の専門領域以外の新患 | |
| 内科 | 専門領域新患 (紹介患者) | 藤堂祐子/山中秀彦 消化器 | 倉恒 正利 腎 臓 | 下村 壮司 血 液 | 坂本 直子 呼 吸 器 | 藤原 仁 循 環 器 | 月曜日 隔週 | |
| | 1 診 | 呼吸器/血液 | 広大(呼吸器) | 宗正昌三(血液) | 坂本直子(呼吸器) | 坂本直子(呼吸器) | 広大(呼吸器) | 再診外来 予約制 |
| | 2 診 | 消化器/肝 | 藤堂祐子/山中秀彦(消化管) | 福原 崇之(肝) | 山中秀彦(消化管) | 福原 崇之(肝) | 藤堂祐子(消化管) | |
| | 3 診 | 呼吸器/内分泌代謝/血液 | 鼻岡理恵(消化器) | 太田逸朗(内分泌代謝・血液) | 太田逸朗(内分泌代謝・血液) | 太田逸朗(内分泌代謝・血液) | 新美寛正(血液) | |
| | 4 診 | 血 液 | 新美寛正(血液) | 角野 萌(血液) | 下村壮司(血液) | 下村壮司(血液) | 宗正昌三(血液) | |
| | 5 診 | 循 環 器 | 藤原仁(循環器) | 中村秀志(循環器) | 藤原仁(循環器) | 中村秀志(循環器) | 藤原仁(循環器) | |
| 6 診 | 腎臓/血液 | 倉恒正利(腎臓) | 倉恒正利(腎臓) | 高蓋寿朗(特殊外来) | 広大(血液) | 高蓋寿朗(特殊外来) | | |
| 神経内科 | 1 診 | 元田 敦子 | 渡邊千種(物忘れ)(第2・4・5) | 渡邊 千種 | 牧野 恭子 | 檜垣 雅裕 | 予約制 | |
| | 2 診 | 牧野恭子(パーキンソン病) | 元田 敦子(第1・3) | 元田 敦子 | 檜垣雅裕(頭痛) | 渡邊千種(筋疾患) | 予約制 PM | |
| C A P D 外来 | | 倉恒 正利 | 倉恒 正利 | 倉恒 正利 | 倉恒 正利 | 倉恒 正利 | 予約制 PM | |
| インスリンポンプ外来 | | 太田 逸朗 | / | / | / | 太田 逸朗 | 予約制 PM | |
| 禁 煙 外 来 | | / | 担当医 | / | / | / | PM2~4 予約制 | |
| 小児科 | 一般外来 | 1 診 | 金子陽一郎 | 金子陽一郎 | 金子陽一郎 | 金子陽一郎 | 金子陽一郎 | 予約制 |
| | | 2 診 | 富岡 啓太 | 富岡 啓太 | 富岡 啓太 | 富岡 啓太 | 富岡 啓太 | |
| | | 予防接種 | 慢性外来 | 乳児健診 | 慢性外来 | / | PM | |
| | 専門外来 | 小児脳ジストロフィー | 伊藤 明子 | 伊藤明子・福田清貴 | 伊藤 明子 | 伊藤 明子 | 伊藤明子・福田清貴 | |
| 重症心身障害 | | 河原 信彦 | 河原 信彦 | 河原 信彦 | 河原 信彦 | 河原 信彦 | | |
| 発達外来 | | 湊崎 和範 | 湊崎 和範 | 湊崎 和範 | 湊崎 和範 | 湊崎 和範 | | |
| | 小児心身症 | 湊崎 和範 | 湊崎 和範 | 湊崎 和範 | 湊崎 和範 | 湊崎 和範 | | |
| 補 装 具 | | / | / | / | / | 木村(第2・4) | 予約制 | |
| 外科 | 初 診 | 石崎 康代 | 今岡 泰博 | 嶋谷 邦彦 | 太田 浩志 | 嶋谷/今岡/石崎/太田 | 金曜日交代制 | |
| | 再 診 | 嶋谷 邦彦 | 太田 浩志 | 石崎 康代 | 今岡 泰博 | | | |
| 整形外科 | 初 診 | 岩崎 洋一 | 藤原 祐輔 | 永田 義彦 | / | 糸谷 友志 | 木曜日手術日 | |
| | 再 診 | 糸谷友志/(永田義彦) | 永田 義彦 | 岩崎 洋一 | / | 永田 義彦 | | |
| | 再 診 | 藤原 祐輔 | 糸谷友志/(岩崎洋一) | 糸谷友志/(藤原祐輔) | / | 藤原祐輔/(岩崎洋一) | | |
| 泌尿器科 | 1 診 | 浅野耕助/福島貴郁 | 浅野 耕助 | 浅野 耕助 | 藤井 慎介 | 浅野 耕助 | | |
| | 2 診 | 赤坂 保行 | 福島 貴郁 | 赤坂 保行 | 福島 貴郁 | 赤坂 保行 | | |
| 産 婦 人 科 | | 新甲 靖 | 新甲 靖 | / | 新甲 靖 | / | 予約制 | |
| 皮 膚 科 | | 中村 吏江 | 中村 吏江 | / | 中村 吏江 | 中村 吏江 | 水曜日手術日 | |
| 眼 科 | | 広大医師AM | / | / | / | / | 第2・第4月曜日 | |

●予約窓口●

- ・患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時～16時までに予約センターへご連絡下さい。
- ・医療機関からの予約 (CT・MRI 含む) は、地域医療連携室へご連絡下さい。
- ・予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご相談下さい。

糖尿病教室を開催しております

参加ご希望の方は、あらかじめ予約をお願いいたします (当日予約可能です)。

問い合わせ先：栄養管理室(0827)57-8192

■病院代表電話番号 TEL (0827)57-7151

■予約センター(直通) TEL (0827)59-0251

■地域医療連携室

ダイレクトイン (0827)57-7183 (内線2140)

FAX (0827)57-7701